

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX645／演習 (Seminar)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	科学技術の発展と捜査法の展開		
担当者名 (Instructor)	川島 享祐(KAWASHIMA KYOSUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX4910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	その他登録		

授業の目標 (Course Objectives)

刑事訴訟法の理解を深めるとともに、資料を集めてその内容を正確に理解し、自分の意見を明確に伝え、建設的な議論をする能力を身につける。

The purpose of this class is to deepen students' understanding of the law of criminal procedure and to acquire the skills for gathering materials, understanding their contents accurately, communicating their own opinions clearly, and engaging in constructive discussions.

授業の内容 (Course Contents)

この演習では、刑事訴訟法に関する重要な理論的問題について検討します。各回の報告者は、担当するテーマについて調査し、調査結果をまとめたレジュメを作成します。報告後には、報告内容について、履修者全員で議論します。今回の演習では、「科学技術の発展と捜査法の展開」という大きなトピックからいくつかのテーマを選び、それについて議論をします。科学技術の発展に伴って、一方で、現行刑法が成立した1948年には想定できなかったような捜査手法(例えば通信傍受やGPS捜査、リモートアクセス)が用いられるようになり、他方で、プライバシー侵害の懸念も生じてきました。そして、判例や立法、そして学説は、その都度この問題に対応してきました。そのような議論の展開を振り返り、今後のあるべき法的規律について検討します。

In this class, we will examine important theoretical issues related to the law of criminal procedure. Reporters are required to research their assigned theme and prepare a resume summarizing the results of their research. After the presentation, all students discuss the contents of the report.

授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション・テーマ設定
2. 報告準備
3. テーマ①の報告・議論
4. テーマ②の報告・議論
5. テーマ③の報告・議論
6. テーマ④の報告・議論
7. テーマ⑤の報告・議論
8. 予備日(追加報告など)
9. テーマ⑥の報告・議論
10. テーマ⑦の報告・議論
11. テーマ⑧の報告・議論
12. テーマ⑨の報告・議論
13. テーマ⑩の報告・議論
14. 総括・追加報告など

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

参加人数にもよりますが、グループあるいはペアで報告してもらうことを想定しています。報告者は、自分が担当するテーマについて、図書館で文献を収集し調査することになります。また、教員が主要検討文献(論文や判例など)を指定することもあります。いずれにしても、報告に臨むに当たっては、授業時間外のある程度の時間を調査・検討に割かなければならなくなることをよく理解しておいてください。

報告者以外の履修者も、授業での議論に積極的に参加できるよう、参考文献やレジュメに事前に目を通しておくことが期待されます。

「刑事訴訟法」の授業で扱う事項についての理解が必要になりますので、同授業を履修済み又は履修中であることが望ましいですが、履修済みである与否とを問わず、関連する事項については、自ら意欲をもって勉強を進める必要があります。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

報告内容(40%)/議論への積極的な参加(出席状況を含む)(60%)
無断欠席又は正当な理由のない欠席が3回以上となった場合には、成績評価の対象としません。

テキスト(Textbooks)

オリエンテーションの際に報告するテーマを選んでもらいますが、その際に主要検討文献などを紹介します。

参考文献(Readings)

オリエンテーションの際に、参考文献を紹介します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<選考方法>

採用人数:15名程度

配当年次:2・3・4年次

選考方法:レポート

①題目:刑事訴訟法に興味を持った理由(具体的なトピックや論点、判例など)や、本演習への参加を志望する理由を、具体的に述べてください。その際には、「刑事訴訟法」の単位を取得しているか(あるいはそれを履修する予定か)、履修していないとすれば、本演習の内外でどのように学習を進めていきたいかにも触れてください。

②字数:A4で1~2枚程度

演習論文:実施しない

注意事項(Notice)